



お寺の掲示板上には、住職前任職が「毎月」言葉を書いて、通りがかりの人がメモをしたりしています。「意味を覚えてもらいたい」と、たずねられることもあり、この「お寺の掲示板」のコーナーでお伝えしていきたいと思えます。

優しさに  
ひとつ気がつく  
×でなく  
○で必ず  
終わる日本語

〈掲示月〉2024年(令和6年)9月



9月のことばは、倭 万智(1962~)さんです。最近の、若い世代の方の文章には、句読点がないそうです。句読点をうつっているのは、おじさん、おばさん世代だそうです。でも○で必ず終わる日本語はいくらもありません。

息子さん(悦郎)を亡くされた、井出悦郎(1979~)さん。「息子の死を通じ、天文学的な確率の偶然のご縁で私に生まれきた事実、知識ではなく、身体奥底で深く納得しました。『死んだら終わり』『死んだらカルシウム』とまで言われているようですが、私はそうは思いません。息子は今も私たち家族の中に息つき、家族の物語を演じています。息子が亡くなった日、空を赤々と染める夕焼けが西の空に見えました。もし、その地に息子が

が向かったのであれば安心かもしれない、そんな感じさせてくれる見事な夕陽でした。私たち家族にとって故人を象徴するものは、その日以来、夕陽になりました。

私には特段の靈感はありませんし、死後の世界があるのかもわかりませんが、大切な人がいる場所がどこかにあり、そこで『また会える』と思えることに幸せを感じます。そして自分もいつか彼の地に胸を張って行けるよう、それまで人生を全うしていきたい、このような方向性の中に、自らの人生の歩みがあります。」と述べられています。

秋彼岸の月に、いのち尽きた時、無(×)でなく、浄土(○)の説かれた教えを味わっています。彼岸花咲ける間の道をゆく行き極まれば母に会う(上皇后美智子さま)

お詫びと訂正

- 永照寺だより245号/1面13行目「味覚には~」「辛み」ではなく「うま味」に訂正してください。
- 法要にお配りした九條武子様の色紙で初日にお配りした説明文の中で「うつみそ」を「うつそみ」に訂正してください。 ※2日目以降にお配りのものは訂正したものを入れています。



永代経法要

永代経法要、無事勤修させていただきました。16日から17日の2日間、中津の松嶋智讓先生にご出講賜りました。今回は午前の座のみでしたが、多くの方が聴聞してくださいました。本当に有難うございました。また、ご加勢くださった受付世話人の皆様、婦人会の皆様には厚く御礼申し上げます。次回の法座は1月14日~16日年頭初参会です。どうぞお参りくださいませ。

婦人会110周年、コール・カンタカ20周年

18日 二胡奏者の 姜 曉艶 (ジャン ショウイエン)さんをお迎えして、式典並びにコール・カンタカの合唱と二胡の演奏会を行いました。当日は約250名の方に参加いただき、大いに盛り上がりました。祝儀、御仏前、お供え等有難く拝受いたしました。心より御礼申し上げます。今後とも婦人会、合唱団をどうぞよろしく願いいたします。

10月の行事予定

- 16日 宗祖命日 (水) 7時 永照寺本堂
- 18日 婦人会例会 (金) 12時 永照寺門徒会館

凡愚のつぶやき

お盆からお彼岸までの間、懇志に加えお野菜・お米をお供えくださり有難うございました。お寺は「多くの方々の想い」に支えられているということを改めて実感いたしました。少しは過ごしやすい季節になりましたが、まだまだ暑い日が続きます。どうかお体ご自愛下さいませ。



お知らせ

お時間許す方、興味のある方は是非、足を運んでみてください。

お菓子のむかしばなし展

- 日時/10月12日~12月8日
- 場所/北九州市立いのちのたび博物館 <https://www.kmnh.jp/>
- ※永照寺から「玄猪餅」、「黒田又左衛門書状」を出展致します。

九州真宗の源流展

- 日時/11月23日~令和7年1月26日
- 場所/福岡市博物館 <https://www.kyushu-shinshu-genryuten.com/>
- ※永照寺から「御絵伝」、「聖徳太子御絵像」、「七高僧御絵像」を出展致します。

お知らせ

- お経本は床に置かないでください
- 毎月16日は親鸞聖人命日(あおさじ)にお参りください。
- 住所が変更する場合は、恐れ入りますがお寺に届けてください。
- 最近では法事が土曜・日曜に集中しますので、早めに連絡頂ければ助かります。(特にお寺で法事をする場合)

永照寺

- 【開門・閉門の時間】
- 開門...6時30分
- 閉門...18時



行事予定やお参り・法要などの連絡事項は「ホームページ」にて随時更新しています。 離れて暮らすご家族にもオススメください。

ホームページに関してのご意見、ご希望、メールをお待ちしています。 <https://www.eishouji.or.jp/> 北九州 永照寺



永照寺:住職のブログ【凡愚庵(ぼんぐあん)】も合わせてご覧いただければ幸いです。左記のホームページ内に移転しました。

モバイルはこのマークをカメラで読み込んでください。